

第69期 中間報告書

COMPANY REPORT 2022

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

SEEK OUT INNOVATION

未来のあたりまえを発見する



株式会社
ソフト99コーポレーション



● To Our Shareholders ●

株主の皆さまへ

『生活文化創造企業』の
経営理念のもと、
更なる成長を目指します。



代表取締役社長 田中 秀明

当第2四半期連結累計期間業績についてのご報告

平素より当社グループの事業活動に格段のご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。当第2四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症に起因する活動制限が緩和されたことで、経済社会活動の正常化が進んでおります。しかし、世界的な原油不足や円安が継続していることから、原材料や燃料の価格は高止まりしており、個人消費や企業活動においてもその影響は大きく、依然として先行きの不透明感が強まっております。

当社グループにおきましても、ファインケミカル事業の主要得意先である小売業界では、新型コロナウイルス感染症拡大防止への警戒心が低下していることから、夏物商材やレジャー用品の消費が増加した一方、衛生用品やインテリア用品などの巣ごもり消費需要によりプラスの影響を受けた製品の販売が落ち着きました。それに加えて、物価高騰により消費者が生活防衛的な消費にシフトしつつあり、前年同期に比べやや低調に推移しております。

また、ポーラスマテリアル事業の主要得意先である半導体業界では、前年同期に比べるとその成長率は下がるものの、依然成長を維持することが予測されます。

このような中、当社グループは第6次中期経営計画「Overtake!!」も最終年度を迎え、販売・開発の両面で様々な取り組みを進めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の実績においては、売上高、営業利益ともに開示しております業績予想に対してやや上回る進捗で推移しております。

株主の皆さまへ

当社は、配当方針として「安定的・継続的な配当」を基本としており、株主還元につきましては本来の事業運営結果に直結し、かつ特殊要因を受けがたい安定した還元実行のため、連結営業利益25%を目安としております。

中間配当につきましては、1株当たり18.5円とさせていただきます。期末配当につきましては、1株当たり18.5円を想定しており、1株当たり年間配当は37円になる予定です。

今後とも当社グループは、「生活文化創造企業」の経営理念のもと、日々の暮らしに役立つ新たな生活様式の創出を目指し、事業活動に取り組んでまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後ともご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

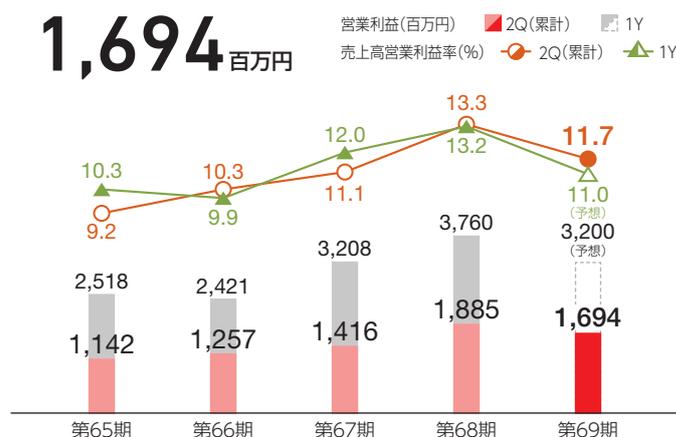
● Consolidated Financial Highlights ●

連結財務ハイライト

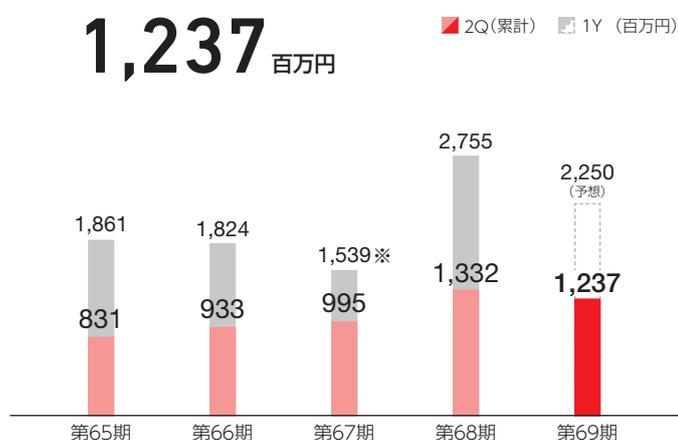
○ 売上高



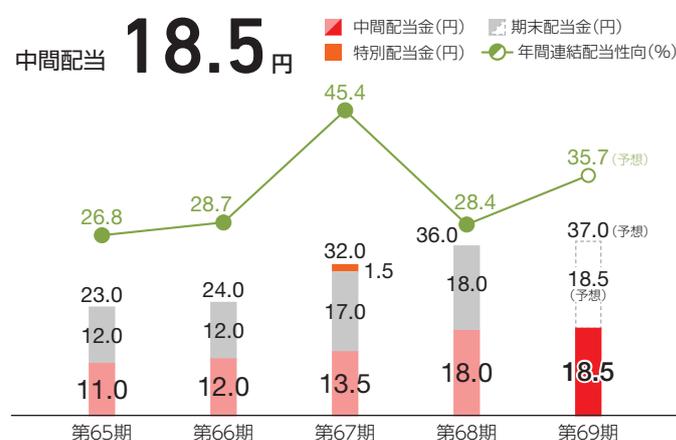
○ 営業利益・売上高営業利益率



○ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



○ 1株当たり配当金・配当性向



※コロナ禍の影響により温浴事業において減損損失を計上

トピックス

TOPICS

アイオン新工場設立

当社グループのアイオン株式会社は、2022年7月茨城県古河市に新工場を設立いたしました。アイオン株式会社はポーラスマテリアル事業を担っており、この新工場は現在力を入れている医療向け製品製造のための衛生施設導入や、生産能力向上のために建設されました。今後も当社グループはビジネスの更なる発展を目指してまいります。



新クラウドサービス『どらあぷ for Biz』開始

当社は、2015年よりリリースしている自動車情報管理アプリ『どらあぷ』を活用することで、企業の車両管理業務をサポートし、道路交通法改正によるアルコールチェックの義務化にも対応した新クラウドサービス『どらあぷ for Biz』を開始いたしました。

運転者がスマートフォンから登録した日々のアルコールチェックや燃費情報、車両点検情報など社用車の管理だけでなく、蓄積されたデータを運転者にフィードバックすることで安全運転指導にも活用できます。

今後も当社は新たに開発を進め、円滑な車両管理業務をサポートするサービスの提供に努めてまいります。



● Review of Operations ●

セグメント別主要事業の概況

自動車分野 産業分野 生活分野

Fine Chemical ファインケミカル

売上高	7,112 百万円	前年同期比	1.4% 減
営業利益	952 百万円	前年同期比	17.5% 減

🚗 一般消費者向け販売

- ボディケア製品は、レジャーの活発化により小売店や専門店への来客者数の減少や洗車機会の減少に伴い、洗車関連製品の販売が低調に推移。
- ガラスケア製品は、ワイパーでは既存の得意先において売り場の獲得が進み、販売が好調に推移したものの、撥水剤ではセルアウトの不調で販売が低調に推移。
- リペア製品は、既存の得意先において売り場の獲得が進んだものの、巣ごもり消費需要のあった前期に比べ販売が落ち着いた。

🚗 業務用製品販売

- 新車向けの製品販売は、新車販売低迷の影響はあるものの、一部自動車メーカーでは生産回復傾向にあることや高価格帯である高機能製品の販売構成比が上がり、OEM製品の販売が好調に推移。
- 中古車向け製品販売は、中古車流通量が減少しているものの、当社ブランドの業務用コーティング剤の価格改定の実施により売上が増加。



▲韓国版レインドロップ

🌏 海外向け販売

- 中国を除く東アジアでは、台湾ではSNSを活用したプロモーションの実施や、量販店向けの企画が成功。韓国では、化学品規制に対応した処方ボディケア製品「レインドロップ」の販売が好調に推移。
- 東南アジアでは、経済活動の再開に伴いミャンマーやベトナムへの出荷が増加。また、EC販売を強化し始めたマレーシアでの出荷が好調に推移。
- 新規エリアにおいては、主要仕向け地であるブラジルで現地語版製品の販売拡大やプロユース関連製品の新規開拓により、出荷が好調に推移。

👨‍👩‍👧 家庭用製品販売

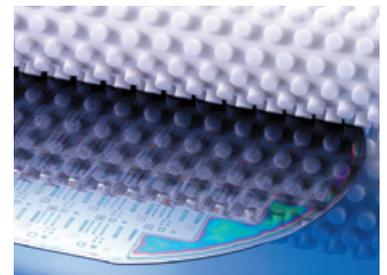
- メガネケア製品では外出機会増加に伴い洗浄ニーズが高まり、詰替え用製品が好調に推移。くもり止め製品では、企画の早期立ち上げや企画導入の確定が遅れたことで、導入数が減少。

売上高	4,038 百万円	前年同期比	10.9% 増
営業利益	538 百万円	前年同期比	1.6% 増

Porous Materials ポーラスマテリアル

🏭 産業資材部門

- 半導体市場は、前年に比べるとその成長率は下がるものの、依然成長を維持することが予測される。
- 海外向け販売は、旺盛な半導体需要を背景に、東アジアへの半導体洗浄用途製品の出荷が好調。また、HDDの研磨、二次電池用途向けで銅箔用砥石の出荷が順調に推移し、医療用途においても吸液材等の用途で他社品からの切替えが進む。
- 国内向け販売は、主力の半導体製造用途分野が前期並みの水準で推移。医療用途においても医療用フィルター各種の需要が増加し出荷が好調に推移。



▲半導体洗浄部材

🚗👨‍👩‍👧 生活資材部門

- 国内向け販売は、自動車用製品は専門店を中心にセルアウトが不調であったことに加え、OEM製品の出荷も苦戦したが、家庭用製品での製品認知度の向上に伴い、販売が好調に推移。
- 海外向け販売は、主力仕向け地である米国において、急激なインフレに起因した生活必需品以外への消費停滞などの影響により、現地出荷が進まず苦戦していたが、インドネシアや韓国向けの出荷が増加。

売上高	3,391 百万円	前年同期比	2.9% 増
営業利益	199 百万円	前年同期比	0.7% 増

Service・Real Estate サービス・不動産関連

🚗 自動車整備・钣金事業

- 自動車の修理単価は、前期と同程度の水準で推移しているものの、入庫台数は回復せず。しかし美装事業では、自動車用プロテクションフィルムにかかる施工・物販が好調に推移。

🚗 自動車教習事業

- 普通車の入所者数については、前期は緊急事態宣言などの影響から外出を制限され、時間のできた学生の入所が増加していたが、今期はコロナ禍の影響は弱まり教習数が通常稼働となった。

👨‍👩‍👧 生活用品企画販売事業

- コロナ禍で急激に高まった通販需要は落ち着きを見せている中、1アイテム当たりの販売数量は前期並みの水準を維持。

👨‍👩‍👧 不動産関連

- 不動産賃貸事業では、保有物件において一部賃貸における事業所撤退等が発生したが、温浴事業では前期に比べ来場者数が回復。介護予防支援事業では、全体の利用者が減少。



▲钣金フィルム施工



各詳細につきましては、
当社ホームページをご覧ください。

IRページ



サステナビリティ



会社の概要 (2022年9月30日現在)

商号 株式会社ソフト99コーポレーション
設立 1954年10月28日
本社 大阪市中央区谷町二丁目6番5号
資本金 2,310,056,000円
従業員数 211名
事業内容 自動車・家庭用品・産業用ケミカル用品
の製造販売事業

役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役社長	田中秀明
取締役	小西紀行
取締役	上尾茂
取締役	石居誠
取締役	宮園哲哉
取締役	田中一成
取締役	生駒英昭
取締役(社外) ※	井原慶子
取締役(社外) ※	藤井美保代
常勤監査役	古居祐
常勤監査役	福井健司
監査役(社外) ※	平井康博
監査役(社外) ※	樋口秀明

※上記4名の役員は、株式会社東京証券取引所に独立役員として届け出ております。

株式の状況 (2022年9月30日現在)

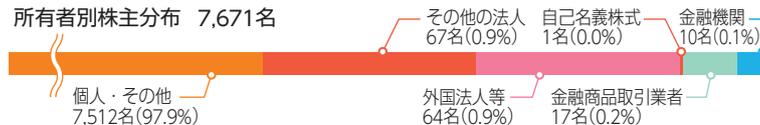
発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数(自己名義を含む)
60,000,000株	22,274,688株	7,671名

大株主 (2022年9月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
サントレード株式会社	3,246,528株	15.0%
MIKIKO SUZUKI	1,492,656	6.9
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,464,900	6.8
CGML PB CLIENT ACCOUNT/ COLLATERAL	1,458,300	6.7
株式会社エイチイーエス	835,000	3.8
株式会社三菱UFJ銀行	799,200	3.7
田中 秀明	661,976	3.1
ソフト99従業員持株会	627,880	2.9
公益財団法人ナインティナイン・ アジア留学生奨学基金	603,720	2.8
田中 佐世子	594,192	2.7

※持株比率は、自己株式数(581,705株)を控除して計算しております。

所有者別株主分布 7,671名



株主様向け 工場見学 について

例年、春先に実施しておりました株主様向けの工場見学会は、現時点では実施予定はございません。再開につきましては、当社ウェブサイトにてご案内させていただきます。

<お問い合わせ先>

人事総務部 TEL 06-6942-8761

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		
期末配当金受領株主確定日	3月31日	中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月	単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel. 0120-094-777 (通話料無料)		
公告方法	電子公告 ウェブサイト: https://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html 電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 ※ 当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。		
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所スタンダード市場(証券コード: 4464)		

株式に関するお手続きについて

お手続き内容	お問い合わせ窓口
・氏名、住所の変更 ・単元未満株式の買取及び買増請求 ・配当金の振込先指定 ・その他株式に関するお問い合わせ	証券会社の口座で株式をご所有の株主さま お取引の証券会社 特別口座で株式をご所有の株主さま 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
・未受領の配当金に関するお問い合わせ ・郵便物についてのお問い合わせ及び再送付のご依頼	すべての株主さま 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部